

## 9、Trueflownetが拓く今と未来

大日本スクリーン製造(株) MTC企画統轄部品質推進部 笹原政之

### 1. はじめに

大日本スクリーンは「CIP4」のフルメンバーとして、業界標準のオープンなJDF+PDFワークフローを推し進めております。ここでは当社のJDFを用いたプリントビジネスソリューション「Trueflownet」の現況と、「PAGE 2005」で紹介する新たな取り組みをご紹介します。

### 2. CIP4における当社の取り組み

「CIP4」はスイスに本部が置かれたJDFの仕様を策定する印刷関連の協議会です。当社はdrupa 2004でJDF対応のワークフローRIP「Trueflow 3」を発表し、既にオリーブ様「プリントサピエンス」と連携の実績もあります。CIP4主催のメーカーによる相互連携テストは年3~4回開かれ、昨年は当社がホストとして日本で始めて京都での開催を執り行い、主要29社54名の技術者との交流がありました。Trueflownetでは当社のPrint-MISである「Riteinfo」が小森コーポレーション様の「K-Station」と、また製版工程をまとめる「Ritecontrol」が「K-Station」やホリゾン様「i2iシステム」等との連携を進めるなど、他社様とのオープンなJDF対応を強力に進めております。

### 3. JDF+PDFワークフローの段階的な導入に対応

JDFは「PDFワークフロー」と結び付いてより成果を発揮します。Trueflownetではお客様が様々な切り口から段階的に「JDF+PDFワークフロー」をご導入いただける製品を用意しております。Trueflowは「Seybold PDF shootout」で満点を獲得したPDFワークフローRIPです。「PAGE 2005」で紹介している「Riteportal II」は、「QuarkXPress」や「InDesign」から印刷に適したPDFと印刷指示のJDFを手軽に出力する新製品です。また「Ritefinsher」は「Acrobat」ベースの「RGBワークフロー」製品です。

### 4. Processes in Prepress, Press, Postpress そして「制作」工程も

CIP4では「制作」(Publishing)の位置付けがまだ明確になっておりません。「PAGE 2005」で紹介している「Ritefiles」は、CIP4のモデルに制作部門を追加し対応させた新製品です。Ritefilesにより、制作管理と素材管理をJDF+PDFワークフローに組み込みます。

### 5. まとめ

「Trueflownet」では多岐にわたるお客様サポートも重要と考えております。Trueflownetでは「JDF+PDFワークフロー」を他社様、お客様と共に推し進め、お客様のビジネスチャンスを拡げてゆきたいと考えております。

参考文献：印刷情報7月号(2004)、Professional DTP 8月号(2004)

連絡先：[sasahara@screen.co.jp](mailto:sasahara@screen.co.jp) 2005年2月2日(水) PAGE2005